

ごあいさつ

ご案内のように、当社は東レエンジニアリング株式会社の関西における関係会社で、東レ・東レエンジニアリンググループの一員であり、機械・電気・計装のプロフェッショナル技術・技能集団です。生産・物流などの各分野のプラントはもとより、環境、社会インフラなどの各種プロジェクトにも取り組んでおります。そして、IT関連分野など新たな分野へも拡大の速度を緩めることなく、東レグループにおいて培ってきた技術・技能を更に高め、柔軟な発想と技術力で、お客様ニーズに即した提案型ビジネスを展開しております。

当社の従業員の大半は、東レ滋賀事業場内に職場を置いていることから、環境保全・改善活動についても東レ滋賀事業場の進める活動に同一歩調で取り組みを行っています。

ここに示した種々のデータは、東レ滋賀に報告しているそのものです。我々関西ティーイーケイ株式会社は東レグループの一員として大津市と結んだ環境保全協定の実施に向け、今後ともたゆまない努力を続けることをお約束致します。

関西ティーイーケイ株式会社
社長

環境方針

【環境理念】

安全・防災・環境保全・衛生・健康・倫理を事業活動の最優先課題として、社会と社員の安全と健康および資源を守り地球環境保全に努めます。

【環境保全方針】

1. 大津市環境基本計画に基づき、共生、循環、健康、快適、協働の基本目標を達成すべく、環境保全活動方針・計画を明確にし、環境の維持・保全に努めます。
2. 環境関連の法規制を遵守し、自主的に保全・改善活動に取り組みます。
3. 水質汚濁物質の流出防止および大気汚染物質の排出防止を徹底します。
4. 廃棄物の削減、リサイクル化の促進、省エネルギーへの取り組み等環境負荷の低減に努力します。
5. 臭気・振動・騒音等を防止し、地域環境を守ります。
6. 上記項目の実現のため、環境目的および目標を設定し、かつ、全従業員が事業者・市民としての責任と役割を自覚し、共通の目標を達成するために継続的な活動を推進いたします。

2001年2月26日制定

会社概要

社 名：関西ティーイーケイ株式会社
 設 立：1973年9月6日
 資本金：80百万円
 本 社：〒520-0832
 滋賀県大津市粟津町1番24号
 TEL 077-534-0956
 FAX 077-534-4693
 株 主：東レエンジニアリング株式会社
 東洋電機株式会社
 代表者：代表取締役社長 太田 進
 許可業種：
 特定建設業 特-22第18627号
 機械器具設置工事業・管工事業・
 電気工事業

事業内容

保全事業：機械、電気・計測設備の維持、保全
 設備の点検診断業務
 機器事業：コンパージング（スリッター、コーター、製膜関連
 装置 他）、メディカル（自動検査装置、
 自動送液充填装置 他）、環境エネルギー
 （水処理関連装置、太陽光関連制御盤 他）、
 省人化・省力化設備、大型部品製作・精密
 加工
 エンジニアリング事業
 ：各種ケミカルプラント（化成品、化粧品、
 洗剤、医薬中間体 他）、水処理プラント
 （排水再利用、海水淡水化、有価物回収他）
 IT関連プラント（印刷材料、純水装置、部
 品組立てライン 他）、環境・エネルギー
 プラント（防音、防臭、排水処理、自家発電、

2013年度 環境保全活動

I. 2013年度 関西TEK環境マネジメントプログラム

2013年度 関西ティーイーケー環境マネジメントプログラム

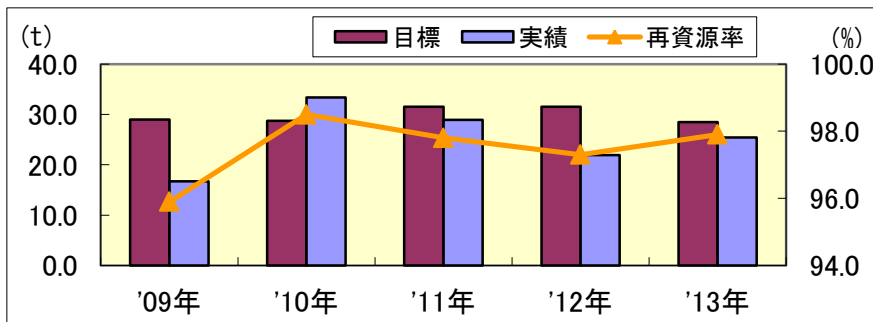
2013.6.30

番 号	環境目的	環境目標	達成基準 (達成度)	方針・施策 (手段・方法)	目標達成のための必要条件 (要員・設備・資金等)	スケジュール												達成予定 年 月	実行責任者				
						上期						下期											
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
1	廃棄物の排出により生じる環境影響の最小化	1) 総廃棄物量の削減 (再資源化を含む)	28.5 t/年以下を目標 (前年目標/廃棄実績: 31.5 t/22.0 t)	・削減計画の周知徹底とフォロー ・紙以外の排出量は昨年実績 以下(埋立廃棄物を削減) ・無駄買い、無駄使いの禁止 ・茶かす、吸殻の水きり廃棄 の徹底	・分別の再徹底による強化推進 ・購入品の梱包資材返却の推進 ・再利用の徹底 (通い箱方式の導入等)														2014-3	安管部長/ 各部長			
		2) 再資源化の推進 (埋立廃棄物の削減)	再資源化率: 96%以上 (前年: 97.3%) ※紙類の再資源化率: 100% 埋立率: 1.0%以下 (前年目標/埋立率実績: 1.3%以下/0.76%)	・ゴミ分別の再徹底 ・あかり安心サービスの維持管理															2014-3				
		3) 紙類の削減	14.5 t/年以下を目標 (前年目標/廃棄実績: 15.0 t/9.5 t)	・紙の両面・裏紙利用の徹底 「O6防汚設備チェックリスト」	・定期的フォローの実施 ・購入品の梱包資材返却の推進 ・電子データ処理の推進														2014-3				
2	省エネルギーの推進による地球温暖化防止	エネルギー消費削減の推進 (電力、燃料等)	A. 電力消費量: 450,000kwh以下にする。 (前年実績: 356,422kwh) B. ガソリン使用量: 17,000L/年以下 (昨年実績: 13,770L)	・冷暖房の温度管理徹底 ・不用時オフの徹底等節電の実行 ・「アイドリングストップ」を経済的な 運行の実践 ・公共交通機関の利用促進	・冷暖房温度管理の徹底 (冷房: 28℃, 暖房: 18℃) ・温度管理の定期的パトロール ・使用量の定期的フォロー ・エネルギー使用の見直し														2014-3	安管部長/ 各部長			
																						2014-3	
3	法遵守の継続及び環境異常発生 の未然防止	環境異常件数ゼロ (異常排水流出防止)	重大トラブル0件 軽度トラブル0件	・教育訓練による意識アップ ・一般排水路のチェック ・工事保安対策会議の充実	・環境教育の計画的推進 ・環境負荷による環境影響PR ・職場内排水経路の確認														2014-3	各部長			
4	環境側面に対する取組み	建屋周辺の美化推進	随時実施	・除草およびゴミ拾い	・部会別で実施														2014-3	各部長			
立案															承認								
安全管理部長															滋賀事業部長								
		本帳票で記載不十分の場合にはA4補助用紙で添付して補足すること。																					

本帳票で記載不十分の場合にはA4補助用紙で添付して補足すること。

II. 2013年度環境保全活動結果

1. 廃棄物総排出量の削減



目標達成のために

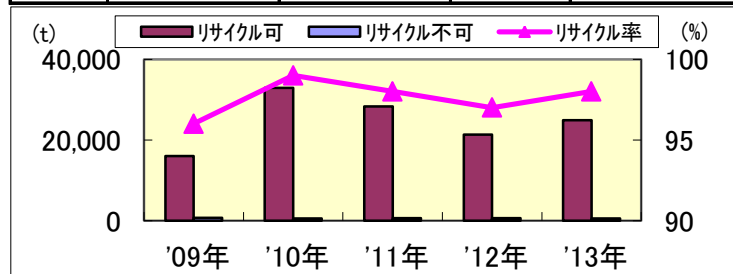
- 2013年度削減計画のPR
- 購入品の梱包資材返却
- 3R活動の推進とPR
- 分別パトロールの強化
- 活動データの見える化

総排出量 実績: 25.4t/年(目標: 28.5t) 再資源化率 実績: 97.9%(目標: 96.0%以上)

一内訳一

総排出量

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総排出量
'09年	16,010	653	96	16,663
'10年	32,873	512	99	33,385
'11年	28,313	637	98	28,950
'12年	21,326	589	97	21,915
'13年	24,856	530	98	25,386
増減量	-3,530	59	-1	-3,471



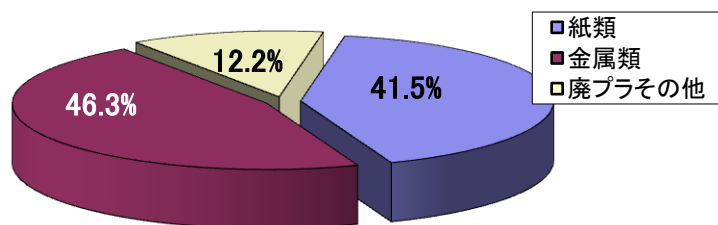
当社の事業形態から受注量と共に紙類・金属類・廃プラ等々の廃棄物の排出量が増減し、環境保全活動に影響してくる。

その現象が現れた2010年度には、総排出量(目標: 28.7t⇒実績: 33.4t)と目標に対し大きく増加した。

そういった現状を踏まえ、次年度以降目標をクリアできるように、TPM活動等日常活動の見える化を図ることで以降当初目標に対し、実績は下回り目標をクリアしている。(2013年度の総排出量: 目標28.5t⇒実績25.4t)

しかし、廃棄物の内訳(次ページ)でも判るように当社の場合、リサイクル可能な紙・金属が大半を占めており、廃プラを含む他の廃棄物を如何に再資

ー内訳ー



2013年度も全社的に3R運動

- ・ Reduce : 削減
- ・ Reuse : 再利用
- ・ Recycle : 再資源

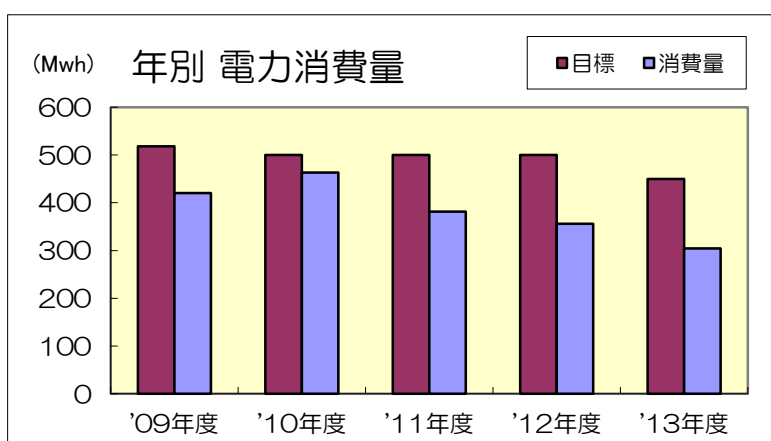
の推進を掲げ、積極的に活動を展開し、廃棄物の排出量削減と再資源化に努力していく。

2013年度 紙リサイクル率：97.1%

紙類の廃棄実績は10.5tで、目標値の14.5t以下を目指し活動を展開。不要な印刷を控え、裏紙の再利用や焼却としていた紙を再資源に利用することでリサイクル率UPに繋がった。

2. 省エネルギーの推進 …… 地球温暖化防止の観点から電力や燃料消費を削減し、省エネ活動を展開した。

1) 電力消費量

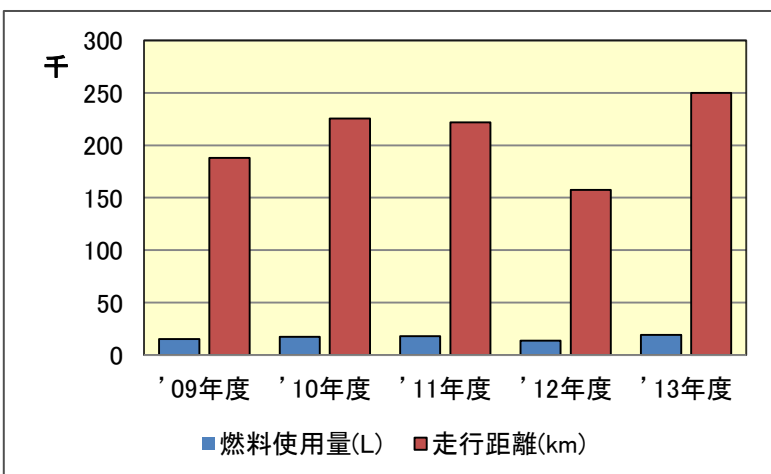


目標達成のために

- 冷暖房の温度管理強化
- 不要時のS/W OFF化の再徹底と実施
- 時間外業務の削減（早帰りデー設定）
- 「滋賀アイトリンクストップ宣言」の実施
- 公共交通機関の利用促進
- 経済速度での運行

当社は省エネ法（重油換算：1,500KL以上）の対象外ではあるが、平素から不要時の電源OFF化や昼休み時間の消灯、空調の温度管理・時間外業務の削減等、管理強化を図り、社員一人ひとりが意識して行動することで節電に努めている。なお、現在本社屋上に太陽光発電システムを設置中。

2) 燃料消費と走行距離



2013年度は、年度初から受注拡大に向け営業活動を積極的に進める中、社有車の利用や台数も増え、活動が活発になってきたが、前年実績を超えないように目標（17.0KL）と定め、省エネ走行や近距離は公共交通機関を利用する運動等を展開し、社有車を使用する社員一人ひとりが省エネを考え、エコドライブに努める等積極的に取組んだ。

しかし、結果は残念ながら19.2KLとなり、目標を達成できなかった。

2014年度は前年度実績以下で推移するよう利用者に再度PRし、努力していく。

3. 環境苦情件数の削減

1) 環境に関する苦情件数のゼロ化

重大トラブル 0件
軽度トラブル 0件

と目標は達成できた。引き続き苦情件数“0”を目標に努力する。

目標達成のために

- 教育訓練による意識アップ
- 建屋排水の排水経路確認
- 環境負荷に対するリスクPR（整備不良による油漏れ等）

2) 工場周辺の美化推進